

食品ロスを 知ろう！

食品ロスの問題にはどんなものがあるのでしょうか。



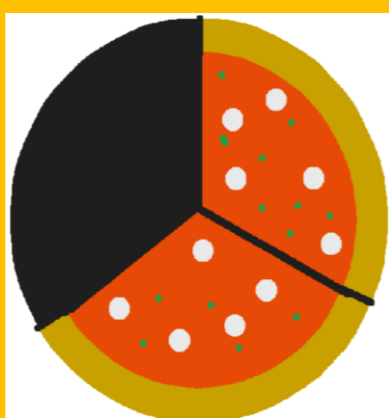
食品ロスとは？

まだおいしく食べられるのに捨てられてしまっている食品のことです。

一般の家庭やスーパー、飲食店などで起きています。

今、世界で約13億人が捨てられていて、食べられる食品の約三分之一にあたる食品が捨てられています。もう少しわかりやすくすると、一人あたり年間50kg。毎日おにぎり1個ずつ捨てていることになりま。

では、この食品ロスの現状がどのような問題を生み出すのでしょうか。



食べられる、食品3分の1が捨てられてる!!

食品ロスの問題点

・埋め立て地が減少する。
埋め立て地とはごみを燃やした時に残る灰を埋めるところです。食品をロスしてしまったときに出るごみで埋め立て地が足りなくなってしまう。

・食事に困っている人がいる。

今、世界の8人のうち1人が食事を十分とれていません。それなのに食べられる食品の三分之一が廃棄されています。皆さんが残した食品を、食事を十分にとれていない人達は必要としています。

などの問題点があります。

お店での取り組み

今回私たちは、ピアゴ(千駄ヶ谷一丁目店)に行って取材をしてきました。

Q、ピアゴで一番余る食品はなんですか？

A、お弁当類です。
お弁当は賞味期限が短い短いものが多いからです。



Q、食品ロスの問題についてどう思っていますか？

A、お店は仕入れる量を的確に把握できないため食品の売れ残る量も変わります。なので食品ロスの問題は難しい問題だと、とらえています。

Q、食品ロスの対策法を教えてください。

A、賞味期限が近い食材や、傷がついた食品は、割引してお客さんに買ってもらえるようにしています。そうして売れ残りになるべく少なくしています。



このように、お店でも食品ロスの対策をしています。

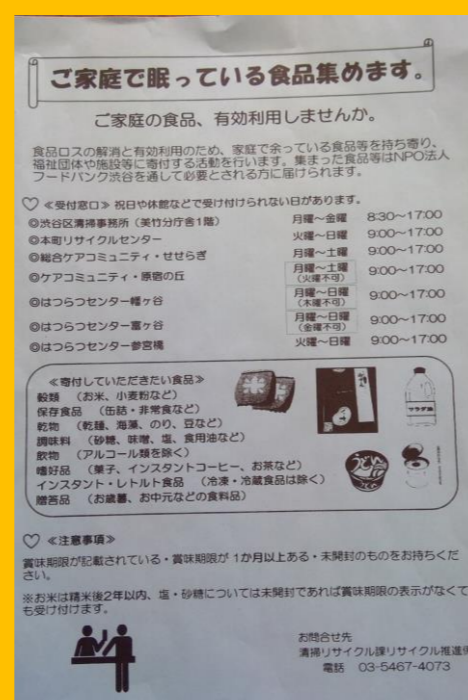
渋谷区での取り組み

渋谷区での取り組みを知るために私たちは「フードバンク渋谷」の方に話を聞きました。

～渋谷区での取り組み～

・**フードドライブ**
フードドライブとは家庭で余っている食品を持ち寄り、食品ロスを防ぐ取り組みです。その食品は生活に困っている人に寄付されます。

このような、取り組みを渋谷区ではしています。



終わりに

食品ロスの問題や取り組み、よくわかりましたか？
このように食品ロスの問題は深刻なものです。だからこそ一人一人が意識して解決に向かわないと思います。皆さんも、この問題が解決に向かうためにパンフレットを見たことを活かしてほしいと思います。

参考文献

- ・ピアゴ千駄ヶ谷一丁目店 写真
- ・渋谷区清掃リサイクル課 チラシ



なくそう食品ロス!!